シグナルとノイズ：灯台を探す一隻の船のように（Google がゴミ箱である理由、本を読むべき理由、ニュースを見ない方が良い理由）

港を目指し、嵐（ノイズ）の中を船海する一隻の船にとって、灯台とは、希望の光（シグナル）。

シグナルとノイズ。

シグナルとは、「役に立つ情報」と言う意味で、ノイズとは「役に立てたない情報」と言う意味です。

もちろん、誰しもがどんな状況にあろうと、シグナルを見つけたいものでしょう。しかし、この世界にはシグナルを上回る量のノイズがあるのが、現実。

例えば、インターネット。

誰しもが、情報をインターネット上に投稿する事が出来るようになった現代では、インターネットとは、情報（シグナル）の宝庫と言うよりも、ゴミ箱（ノイズ）と形容した方が、その真の姿を言い表すのに、ふさわしいのではないでしょうか？

例えば、ニュース（テレビ、ネット、新聞等）。

ニュースで取り上げられる情報と言うのは、必ずしも、あなたの役に立つ情報（シグナル）ではなくて、あなたの興味を引く情報（ノイズ）である事が多いのではないでしょうか？ニュースを配信する立場からしたら、大事なのは、視聴率。視聴率を稼ぐためには、「役に立つか？」と言う観点ではなくて、「興味を引けるか？」と言う観点で情報を流す動機に繋がる事が多くなり、ニュースとはノイズ製造機と言っても過言ではないかもしれません。

例えば、本。

多くの人は新発売のビジネス書に飛びつきがちですが、「時間」と言うシグナルとノイズのフィルター（ろ過器）を通っていないので、ノイズの紙束を掴まされている可能性は大いにあるでしょう。

だからこそ、大事なのは、ネットよりも本を通して、情報を手に入れる事。

そして、その本がしっかりと「科学的な見地（データや調査された）から情報を述べているのか？」と言う事や「時間と言うフィルターを通って、時代が変わっても色あせる事の無い情報が詰まっているのか？」と言う事をあなた自身がしっかりと事前調査をしてから、読み始める事。

そして、大事なのは、ニュースを見ない事。

「あなたの人生の役に立ったニュースは今までにどれだけ、ありましたか？ 」と言うワンフレーズに尽きると思います。

我々は皆、人生と言う荒波を航海する一隻の船なのかもしれません。岬にそびえ立つ灯台が放つ一縷の光（シグナル）。それを常に目指して、様々な港に上陸し、そこで色んな情報（シグナル）を手にして、再び航海に出る。その繰り返しを多く行った船だけが、エデン（成長した姿や成功した姿）に辿り着けるのではないでしょうか…？